

1.07
13
岐阜県立図書館

寶曆七

丑

日記

1834  
 1835  
 飛騨郡代

地方三十五号

御樽本方

61  
E  
1948年



寶書

月  
日  
日  
日

館備付  
1324  
35.12.12  
保管轉換

寶書

二月元日雪

一  
費  
後  
人  
麻  
下  
台  
以  
礼  
上  
乞

日  
之  
書

日  
之  
人

一 日 一 日 一

一 南 山 寺 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

日 一 日 一

一 佛 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

一 南 山 寺 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

一 佛 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

日 一 日 一

日 一 日 一

一 佛 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

日 一 日 一

日 一 日 一

日 一 日 一

一 南 山 寺 院 名 一 十 二 三 四 五 六 七 八 九 十 一 十 二

字  
天


一 鶴書方收人之所也

口十吉 天 吉

一 九の少用始麻方之少

一 九の少用始麻方之少

口十吉 天

荒川  


一 九の少用始麻方之少


一 九の少用始麻方之少  
荒川  


口十吉 天

一 九の少用始麻方之少  
版村地

一 九の少用始麻方之少  
富田

一 九の少用始麻方之少

荒川  


一 寧ろくも 時人

一 世に人麻をききし礼に云

一 善き極み江戸台佛人今も其物未だ有  
石舟

三 藤原氏

一 廿日云成少少味有自少云成坊有  
形去少通云云云  
布通云云云

口上云 時人

荒川中流



一 今も南の多代坊に云云云云云云  
形去少通云云云  
難く云云云云云  
初今云云云云云  
以形云云云云云  
布通云云云

荒川中流



口上云 時人

一 母の之儀今之云之而女初減之事也  
P. 六  
右の母の之儀

荒川十右衛門

字子少 四六

一 母由心之儀之義陽今之儀也

一 御茶沙之儀今之儀也

右の母の之儀

右の母の之儀

荒川十右衛門

日十九 四六

一 母の之儀今之儀也

右の母の之儀

荒川十右衛門

日十九 四六

一 御茶沙之儀今之儀也

5

一 廿〇日 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲  
下云 羊日 羊日 羊日 羊日 羊日 羊日 羊日 羊日  
石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸  
石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸

荒川

三十一日

一 廿二日 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲

一 廿三日 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲

上云 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲

石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸

石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸 石者寸

荒川

廿四日

沙洲

一 廿五日 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲

一 廿六日 沙洲上角梅子 舞沙洲 沙洲 沙洲

一 月 日 陽 宗 之 妹 孫 子 也 為 其 妻 之 御 氏

此 少 年 也  
是 之 御 氏 也

一 月 日 陽 宗 之 妹 孫 子 也 為 其 妻 之 御 氏  
此 少 年 也 是 之 御 氏 也

古 田 陽 宗 之 妹  
孫 子 也 為 其 妻 之 御 氏

布 之 御 氏 也

蓋 印 之 御 氏  


正 月 七 日 乙 未

7

一 月 日 陽 宗 之 妹 孫 子 也 為 其 妻 之 御 氏  
此 少 年 也 是 之 御 氏 也



此の巻一紙に書かれたは江に舟を打しての書  
舟の書に由る年一は武之や一は武之<sup>武</sup>舟一と  
之の舟一は武之や一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
一紙の舟一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と  
舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と

舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と

荒川吉兵衛

舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と

舟の書に由る年一は武之や一は武之や一と

荒川吉兵衛

一 丁丁 書

一 一 書

荒川 書

日 書

一 一 書

荒川 書

日 書

一 一 書

一 一 書

荒川 書

日 書

一 一 書

一 一 書

荒川 書

二月十九日 書

一 今之世也

荒川十之九

口晦 晴天

一 而方山之心也  
右後世之世也  
生りし方也  
布之色之如也

荒川十之九

二月十九日 書


一 延喜之宮  
右之世也

荒川十之九

口晦 晴天

一 尾別之宮

一 乃 乃 乃 乃 乃

荒川吉屋  


了 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃  
荒川吉屋  


乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃  
荒川吉屋  


乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃

一 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃

一 左傳而... 山内... 陽... 初... 改...

右...

荒川...



二月六日 漢文

荒川...



12

日吉 漢文

荒川...



日八 漢文 竹...

一 高きものり

山崎行幸

右の如く

荒川十五



二 九 百六

一 自山名成河多別本之成...  
移... 少... 經... 五...  
... 印... 那... 神...

右の如く

荒川十五



日十 百六

一 高きものり... 散... 河... 也...  
... 依... 之... 為... 心... 下... 年... 子...

一 高きものり... 山... 後... 山... 後...  
... 山... 後... 山... 後... 山... 後...

前記法を後写しに記す  
 有る如く也

嘉永十一年



一 了了了。面々

一 高き中候の如き 林仙方

一 伯父し高中より云 上道堂方

一 内用より云 庄打方

一 口上は法入の如き如し云 如候候

山内の方

一 子心は物事より云々云々  
 一 高き中候の如き  
 一 伯父し高中より云  
 一 内用より云  
 一 口上は法入の如き如し云  
 一 庄打方  
 一 上道堂方

一 右田邊宗棟抄并其方より  
川口松重抄は其方より  
右通し其方

荒川十右衛門



一 下より 晴久

一 高子中後方の書物付  
山田氏

右田邊宗

15

一 高子中後方の書物付  
右通し其方

荒川十右衛門



一 下より 晴久

右田邊宗

一 内用より  
右通し其方

荒川十右衛門



一 下より 晴久  
其方



一 子心山乞之宿屋少也、内之宿也、  
巨物侍、是也、其行旅、  
尸之、之達、  
右、海、月、也、

荒川中流



二 月、中、也、

一 病、手、中、後、の、也、

古、御、印、也、

一 別、中、也、

中、林、也、也、  
信、之、也、也、  
海、而、也、也、  
右、也、也、

本、也、也、

荒川中流



日、十、二、也、

一 海、也、也、

一 古海幼り分始少地今氣併少地完  
一 兼て海法は金銀も光

一 今、風如くす如く水多す少く、  
か、海如くす如く水多す少く、  
世代少くす如く

有、母、母、母、母

荒川五馬



一 下、下、下、下、下

一 高村、高村、高村、高村、高村

一 別本、別本、別本、別本、別本

一 高、高、高、高、高

有、母、母、母、母

荒川五馬



日、日、日、日、日

一 高、高、高、高、高

荒川五馬

一 高、高、高、高、高

古德堂藏

一 刻書以實存人之言三所和而重之九全  
平八中之山(例)一山(例)以實存人之言  
以實存人之言

右一冊一冊也

荒川十之九

二月十九日 畢 少自

一 今之書法

荒川十之九

口古 西天

一 一書中後方之書法 古德堂藏

一 右方子(古)之書法 古德堂藏  
右(古)子(古)之書法 古德堂藏  
右(古)子(古)之書法 古德堂藏

口古 畢

荒川十之九


一 刻書以實存人之言三所和而重之九全

右一冊一冊也

荒川十之九

一、今日書作之

二、日吉子 張天

荒川書局  


日吉子 張天

一、刻本法親王書


一、地役人法親王書

布、通、之、書

荒川書局  


日吉子 張天

一、今日書作之

荒川書局  


日吉子 張天

一、今日書作之  
一、刻本法親王書  
一、地役人法親王書  
布、通、之、書

近り、  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

荒川  


二月廿二日

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

下行中々中 國領、三三及並所中分  
出之云々

布 遊之云々

荒川 卓

二月廿七日 晴

一 自方難用 様子定式は 難儀に付  
中々云々 傍に 難儀云々

一 少方 様子 様子 定式は 難儀に付  
中々云々 傍に 難儀云々

一 自方 様子 様子 定式は 難儀に付  
中々云々 傍に 難儀云々

布 遊之云々

荒川 卓

日七ノ 早

一 中村 様子 様子 定式は 難儀に付  
中々云々 傍に 難儀云々

一 梅月 様子 様子 定式は 難儀に付  
中々云々 傍に 難儀云々

自山中中... 傳中... 今...  
一 秘傳... 山内... 惟子... 秘... 武...  
半... 山... 印... 行... 記...  
布... 通... 之... 知...

荒川... 泉

二... 月... 日... 而... 天... 梅... 庵

一 弟... 岩... 後... 以... 之... 後... 國... 之... 在... 代... 上... 地... 產...  
山... 内... 惟... 子... 秘... 傳... 武... 泉...  
布... 通... 之... 知...  
荒川... 泉

三月... 日... 傳... 文...

一 自... 方... 難... 自... 孫... 子... 上... 山... 泉... 法... 秘... 三... 冊...  
荒川... 泉

荒川... 泉

- 一 口より少くは三斗入り用は早稲米ありて也
- 一 口より細角板ありて候は格云々の也
- 一 少くは口内國米あり候は口内米ありて也
- 一 口より少くは板ありて候は格云々の也
- 一 口より細角板ありて候は格云々の也

右一俵三斗云々 兼写云々

右身標半斗は人半斗を遊中品に及ぶ也

*[Faint background text, possibly bleed-through from the reverse side]*

右一俵三斗云々

蓋州信局

二斗三斗 四斗五斗

一 江戸へ送る由候は米に由りては口内米ありて也  
海内より少くは細角板ありて候は格云々の也

*[Small vertical text]*

一 少くは口内國米あり候は口内米ありて也  
口内米ありて候は格云々の也



一 杉松の葉を以て南の方より西の方にかけて  
川に流すは小舟の格別にして其の味は  
核子より二三日経たず即ち腐りし  
るは杉松の葉に南の方より西の方  
に流すは小舟の格別にして其の味は

右の如くは也

荒川左馬

二月三日

荒川左馬

一 杉松の葉を以て南の方より西の方にかけて

一 杉松の葉を以て南の方より西の方にかけて

荒川左馬

日守 漢人

一 杉松の葉を以て南の方より西の方にかけて

荒川左馬

日守 漢人

一 丑 子 之 代 商 火 之 後 亦 好 亦 佳 亦 亦  
自 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

蓋州之島



二月六日

一 少 方 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
川 下 下 下 下 下 下 下 下 下 下

一 中 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

25

蓋州之島



日七、星五

一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

蓋州之島



予一人 而天

一 高年之公也

長陳之命

右 母之命也

荒川之命

日九 時久

一 何多生帝之代陽也若也... 予一人之命也... 命之命也... 命之命也...

少能也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也... 命之命也...

右 母之命也

荒川之命

二、  
三、

一、  
中村金七、  
白鳥、  
右、

荒川左馬



日、  
日、

一、

荒川左馬



日、  
日、

一、  
且、

中、

中、

山、

山、

一、  
高、

高、

一 少子之儀内々、高きより、并之旨信念夏  
少の儀も、彩て、万一、此之儀、之、御を、り  
之、自之、儀、う、侍、并、山、内、御、少、色、を、り、  
彩、之、を、り、之、

一 之、儀、内、之、方、中、村、公、七、重、初、其、山、下  
之、儀、信、持、之、を、り、御、之、先、達、之、彩、之、儀、  
川、之、り、り、り、御、之、儀、之、儀、之、儀、  
之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、  
布、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、

二、三、四、五、六、七、八、九、十

荒川十右衛門



一 少子之儀内々、高きより、并之旨信念夏  
少の儀も、彩て、万一、此之儀、之、御を、り  
之、自之、儀、う、侍、并、山、内、御、少、色、を、り、  
彩、之、を、り、之、

一 中村公七重初其山下  
之、儀、信、持、之、を、り、御、之、先、達、之、彩、之、儀、  
川、之、り、り、り、御、之、儀、之、儀、之、儀、  
之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、  
布、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、

右、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、之、儀、

荒川十右衛門



一 子... 門人

一 無事申後の... 物侍

右通... 知

荒川... 印

日... 百八

一 今... 事

荒川... 印

日... 百八

一 今... 事

荒川... 印

日... 百八

一 御... 事

山... 印

一 御... 事

山... 印

一 子... 事  
右... 印

右一週之記

荒川左馬

二十七日 卯

一 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

右一週之記

二十七日 卯

荒川左馬

一 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

二十七日 卯

荒川左馬

一 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

二十七日 卯

荒川左馬

一 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田 寺田

五部書の行本年破り地修無の事名  
おぼろげに記す事少くは半竹兼たし  
字も本下等し地修無也

一 字の如神不痛氣今なきうけ才書物類  
云々云々

一 是の如物書に主なり本果る事也

右 通二の事也

荒川右馬



一 二の事也 謹夫

一 佛中方沙の事也 國に地沙の言は侍也

右 通二の事也

荒川右馬



口方云々 面天

一 九の事也 云々云々

荒川右馬





二、一、七、字、陸、天、然、少、多、

一、今、日、留、得、世、之、心、

荒川中流

日古、

一、痛、字、少、以、心、上、

回、字、保、為、

一、地、後、人、情、可、異、也、代、以、向、今、之、事、也、方、  
少、知、其、持、信、終、不、變、也、古、之、事、也、

右、母、子、心、也、

荒川中流

日古、

一、痛、氣、甲、後、心、動、也、

右、村、也、

右、母、子、心、也、

荒川中流

日古、

一、今、日、留、得、世、之、心、

荒川中流

日古、

一、今、日、留、得、世、之、心、

荒川中流

二 丁未年 丙子月

一 丙子年 丙子月

荒川石印

口吻 每文

荒川石印

一 今之習俗之

一 送役人 麻子石 丙子年 丙子月 丙子日

一 丙子年 丙子月 丙子日

丙子年 丙子月 丙子日

一 地厚人切 丙子年 丙子月 丙子日

一 丙子年 丙子月 丙子日

丙子年 丙子月 丙子日

荒川石印

景平子之書

一 高平中後の事為侍河本

一 少頃古國傳記の事  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原

一 少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原

一 少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原  
少頃高平中侍河本 後揚中 井原

右ノ母ノ人

荒川

荒川

甲ノ人

荒川

一ノ母ノ人

日ノ人

一ノ母ノ人

荒川

右ノ母ノ人

日ノ人

左ノ母ノ人

一ノ母ノ人

一ノ母ノ人

一ノ母ノ人

荒川

右ノ母ノ人

甲子年

一 福多申候の由物付

右 母の由物

山陽行年

荒川右左衛門

日七

日八

日九

一 一の由物

荒川右左衛門

日八

日九

一 一の由物

荒川右左衛門

日九

一 尾列の由物

一 尾列の由物

右 母の由物

荒川右左衛門

丁巳年 男 壽

一 少子也其父之成也其子之建也  
涉氣之氣也其子之建也其子之建也  
川下之涉氣也其子之建也其子之建也  
布之涉氣也其子之建也其子之建也

日下 面天 雷

荒川之風



一 尾列也其子之成也其子之建也其子之建也

入也其子之成也其子之建也其子之建也  
其子之成也其子之建也其子之建也  
其子之成也其子之建也其子之建也

荒川之風



日下 面天

一 少子也其父之成也其子之建也

荒川之風



甲子年 丙辰

一 劍水清冽下流雲氣

有母口人他

蒼川上流

日十午 丙辰

一 劍水清冽下流雲氣

蒼川上流

日十午 丙辰

一 劍水清冽下流雲氣

蒼川上流

日十午 丙辰

一 劍水清冽下流雲氣

蒼川上流

日十午 丙辰

一 劍水清冽下流雲氣  
有母口人他

右 徳川 徳川

徳川 徳川

徳川 徳川

一 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川

右 徳川 徳川

徳川 徳川

徳川 徳川

一 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川

右 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川

一 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川

一 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川 徳川



一海の心

荒川十九日



一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心

荒川十九日



一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

一海の心  
一海の心  
一海の心

車展心少雲結つ法多事之

一 白川のそと成く名刺去る由成りしと云ふは  
少るに半半と云ふは少くは少く半半は半半

布一冊一冊也

若川吉良



了りたり 唯人

一 今、留得る事

若川吉良



口古く、面人

若川吉良

一 由少別本より半一帳面より半一不意

おのれ半半と云ふは少くは少く半半は半半

布一冊一冊也

若川吉良



口古く、面人 唯人

一 江戸寺の御書

少代権様より少くは少く半半は半半

おのれ半半と云ふは少くは少く半半は半半

一 高寺の御書



了了字 而人

一 南少之代詞合地定

有母人知

荒川之島



口在少 僕人

一 南少之代詞合地定

有母人知

口在少 僕人

荒川之島

一 南少之代詞合地定

津直下相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

ハ相傳い南少之代詞合地定

有母人知

荒川之島



布海のり物

荒州のり

甲子年八月

一 廿日南方部同抄子午式以成其用之方也

一 日行防兵形之方也南世の不定感く  
うらまきし方也此に成其用之方也

一 南世の之成うらまき利方也

一 此方七少言子也成其用之方也

之成其用之方也南世の不定感く  
うらまきし方也此に成其用之方也  
大なる防兵形之方也南世の不定感く  
うらまきし方也此に成其用之方也  
今も大なる防兵形之方也南世の不定感く  
うらまきし方也此に成其用之方也

布海のり物

荒州のり

日十月

一 上より下へ

一 川島と方、五山、分、高、船、り、次、大、座  
一 中、高、船、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座  
一 右、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

荒川右馬

一 川、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

一 右、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

荒川右馬

一 川、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

一 川、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

右、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

口、二、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

一 川、海、之、也、り、五、山、之、分、高、船、り、次、大、座

右一母一人也

荒川右馬

子一人也

一 下馬所經之處甚多之成念之山如左者  
難月移之何所而小之山如左者  
弟山如左者何所而小之山如左者  
山如左者何所而小之山如左者  
山如左者何所而小之山如左者

右一母一人也

荒川右馬

日字 而文

三川白水

一 一母一人也

荒川右馬

日字 而文

一 一母一人也

一 一母一人也

特 日字 而文

右一母一人也

荒川右馬



みーろく 白く 長

一 高きよりして 林仙鳥

一 山所は高き成ちり母鳥平らなるに  
しな山 向ふ方より山はありて

右 母鳥の如く 荒川鳥

口古 白く 白鳥

一 今 野鳥の如く 荒川鳥

口八 白く 白鳥

一 林仙鳥の如く 野鳥の如く 書代之如く

一 高きよりして 田子鳥

右 母鳥の如く 荒川鳥



一 石ノ下ノ 墨 糖所

一 福子ノ湯ノ下 山崎ノ下

一 下ノ湯ノ下

荒川ノ下

日ノ下 湯ノ下

一 湯ノ下ノ湯ノ下

林ノ下

一 古ノ人ノ湯ノ下

湯ノ下

一 湯ノ下ノ湯ノ下

湯ノ下

一 湯ノ下ノ湯ノ下

湯ノ下

日ノ下 湯ノ下

荒川ノ下

一 湯ノ下ノ湯ノ下

日ノ下 湯ノ下

荒川ノ下

一 湯ノ下ノ湯ノ下

ありての 百六

一 苗子元代少子黒部橋本を撰成す  
伊州江原少のり言云波云

有母つん仲

荒川を為

口十九

百六

三河川の水

一 苗子元代少子黒部橋本を撰成す  
伊州江原少のり言云波云  
有母つん仲

任人同書あり

一 苗子元代少子黒部橋本を撰成す  
伊州江原少のり言云波云

一 苗子元代少子黒部橋本を撰成す  
伊州江原少のり言云波云

日

三河川の水

苗子元代

歌年為の無

田新源記

リルル

市町と云々  
定例云々

廿〇日... 廿一日... 廿二日... 廿三日... 廿四日... 廿五日... 廿六日... 廿七日... 廿八日... 廿九日... 三十日...  
此の如き事

有... 通...

蓋州十島

子... 而...

言... 通... 廿一日... 廿二日... 廿三日... 廿四日... 廿五日... 廿六日... 廿七日... 廿八日... 廿九日... 三十日...  
中... 村...



信之難申人全之者少也之相信子以爲難  
一 申之別尸上之相信之者少也申之難申  
一 申之市口之者少也申之難申  
一 申之海之者少也申之難申  
一 申之山之者少也申之難申  
一 申之川之者少也申之難申  
一 申之池之者少也申之難申  
一 申之谷之者少也申之難申  
一 申之原之者少也申之難申  
一 申之野之者少也申之難申  
一 申之山之者少也申之難申  
一 申之川之者少也申之難申  
一 申之池之者少也申之難申  
一 申之谷之者少也申之難申  
一 申之原之者少也申之難申  
一 申之野之者少也申之難申

一 申之別尸上之相信之者少也申之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

荒川之難申

一 申之別尸上之相信之者少也申之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

荒川之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

申之別尸上之相信之者少也申之難申

一 申之別尸上之相信之者少也申之難申

荒川之難申

水角の地

一 水角の地は昔より古村千と長久保に  
シテ水角の水角地子村本流の地は古村  
水角の地は昔より古村千と長久保に  
シテ水角の水角地子村本流の地は古村  
水角の地は昔より古村千と長久保に  
シテ水角の水角地子村本流の地は古村

右の地

荒川

口才

一 尾別  
一 口才  
一 尾別  
一 口才

林



右... 乙未

荒川...

乙未...

一... 乙未... 荒川...

荒川...

乙未...

一...

荒川...

乙未...

一...

右... 乙未...

布一匹  
一尺

荒川

六月

一  
布一匹

布一匹

荒川

日二

一  
米

一  
米

一  
米

書

一  
布

布一匹

荒川

日二

一  
米

書

荒川

与康西信  
与打信

一 可成之信... 所寄... 康西... 打信

一 可成之信... 所寄... 康西... 打信

可成之信... 所寄... 康西... 打信

一 可成之信... 所寄... 康西... 打信

可成之信... 所寄... 康西... 打信

一 高野の三行... 細... 山... 布... 海... 月... 日...

高野の三行

高野の三行

一 少... 山... 月... 日...

少... 山... 月... 日...

一 高野の三行

高野の三行

高野の三行

一 高野の三行

高野の三行

高野の三行

一 高野の三行

高野の三行

高野の三行

一 高野の三行